



# 飲酒運転NO

○北海道飲酒運転の根絶に関する条例が制定されました。

北海道では、飲酒運転の根絶に関する施策を総合的に推進し、安全で安心して暮らすことができる社会の実現を目指しています。  
 道職員として、率先して飲酒運転の根絶と再発防止に取り組みましょう。

○万が一、飲酒運転で検挙されてしまうと厳しい処分が待っています。

	酒酔い運転	酒気帯び運転	
		呼気アルコール濃度 0.25mg/l以上	呼気アルコール濃度 0.15mg/l以上 0.25mg/l未満
罰則	5年以下の懲役又は 100万円以下の罰金	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金	
行政処分 (前歴なしの場合)	違反点 35点 免許取消 欠格期間3年	違反点 25点 免許取消 欠格期間2年	違反点 13点 免許停止(90日)
懲戒処分	免職	免職又は停職	



懲戒処分を受けた場合  
の給与上の影響

【34歳主任の例】  
 家族構成:妻、子2人、給料月額:267,000円

懲戒処分の例	停職3月	停職期間中、3か月間は無給 → ▲90万円 期末、勤勉手当の減額 → ▲30万円 定期昇給の停止 → ▲9万円(年間)	生涯賃金で <b>300~400万円</b> の減収
	停職6月	停職期間中、6か月間は無給 → ▲180万円 期末、勤勉手当の減額 → ▲60万円 定期昇給の停止 → ▲9万円(年間)	
	懲戒免職	退職手当は不支給 氏名の公表	

**ご家族の生活にも、  
 大きな影響を与えます。**

大切なご家族を犠牲する飲酒運転は、絶対にやめましょう。

# 飲酒運転根絶・再発防止に取り組みましょう。

Check!

自動車等を運転する前日は、過度な飲酒を避けましょう！～アルコールが体内から抜けるまでには時間がかかるため、運転前8時間以内における飲酒は控えましょう。

Check!

飲酒翌日の二日酔い運転に注意！

～体調や体質によって、アルコール消失までの時間は変わります。

Check!

飲酒運転は自分ひとりの問題ではありません。

～大切な家族のことを思い出して、飲酒運転をストップ。

## ご家族の皆様へのお願いです。

職員の飲酒運転防止のため、ご理解とご協力をお願いします。

- 翌日に運転が予定されている場合は、晩酌の量をセーブ。
- 飲み会の予定を確認し、飲酒予定日には車両通勤をさせない。
- 飲酒翌日の運転前には、アルコールが残っていないか呼気を確認。
- 車両通勤している職員が二日酔いの場合、職場や最寄り駅まで送る。
- 職員の飲酒時、飲酒場所や最寄り駅まで迎えに行く。



## 酔いがさめるまでの時間

ビール中瓶1本(500ml)を飲んだ場合、アルコールは約3～4時間体内にとどまります。

- ※ ビール中瓶1本(500ml)＝アルコール1単位
- ※ 体重60kgの人が30分以内で飲んだ場合
- ※ 睡眠すると、アルコールが体内から消失するまでにより長い時間がかかります。
- ※ 時間は、目安であって個人差があります。

